

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎(752)0453 小林えみ子 ☎(482)5451

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

☎(483) 1151

財政難の付けを市民に押し付ける秋葉市長！

秋葉市長は7月28日の記者会見で、「財政リスク回避戦略2014キックオフ～持続可能な市政運営のための立て直し戦略（2か年プログラム）」を公表したが、市議会には内容について未だ説明はされていません。

ホームページでの内容と7月29日に新聞報道された内容を見てみると、「事業仕分け」「公共施設の再編」「人件費の適正化」「補助金の見直し」など含めた9項目が並べられています。これらを進めていくと結局は「市民サービス低下か負担増か、市民に選んでもらって乗り越えましょう」というものです。

現在の財政難は、前豊田市長以来の「新川箱モノ計画」など大型開発が影響していることは明白です。それを踏襲した秋葉市長は、責任と反省が全くされていません。そのうえ市民参加を強調しているが、「市長の敷いたレールに市民が参加して、サービス低下か負担増かを市民に選ばせる」あくまでも「市民が選んだ結果」として、市長の責任を逃れるやり方です。

新川箱モノ計画反対が市民の多数意見だった

昨年の市長選挙時では「市民一人当たりの借金は約38万円」、ところが今年の予算発表時では「市民一人当たりの借金は40万円」とさらに急増しています。



財政難を訴えて「新川箱モノ計画の見直し」に賛同して市民が選んだのが秋葉市長です。しかし当選直後から、総合グラウンド、中央図書館、市民ギャラリーと次々と建設を進め、市民を裏切ってきた秋葉市長です。市の借金を増やしてきて「財政難です」「市民のみなさん一緒に考えて、我慢してください」では、同意を得られるものではありません。

日本共産党は、9月議会で、日本共産党として「財政立て直しの対案」を示しながら秋葉市長の「市民につけを押し付ける政策」に対しての追及をしていきます。

中村健敏市議の日本共産党からの除籍について

日本共産党千葉県西部地区委員会は、7月31日中村健敏市議を党から除籍することを決定、本人に通告の上議員を辞職するよう求めました。

皆様のご支援で議会に送り出されていた貴重な日本共産党の議席を失う事態に至ったことを心からお詫び申し上げます。

除籍の理由は、5月28日、中村議員の妻が八千代中央駅で日本共産党の宣伝活動中の弁士にビデオカメラを突き付けて妨害、これを制止した党員を逆に「暴行・セクハラ」だと警察に訴えました。中村議員は、無実の党員を警察に訴える妻の行為に同調し、共同して党に対して攻撃しています。こうした行為を行っている中村議員は、すでに党員の資格を明白に失っていると判断し、党規約にもとづく除籍措置がとられました。